

令和元年11月29日

西神楽中学校3年生の保護者の皆様

旭川市立西神楽中学校
校長 神林 宏行

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について

初冬の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心からお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、4月に実施いたしました全国学力・学習調査の結果について、個人成績単票を配布するとともに、改めまして本校の結果と分析についてお知らせいたします。下記の内容をご確認の上、今後の学習にご活用いただきたいと思っております。調査結果に関して何かご質問等がありましたら、学校までお問合せください。

なお、学校ではこの分析結果をもとにして、生徒の学力向上や学習習慣の確立に向けて、教育活動の改善・充実に取り組んでまいります。

1 全国学力・学習状況調査（4月18日実施）の概要

(1) 「教科に関する調査」と「生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査」です。

調査対象教科は国語・数学・英語です。教科に関する調査の内容については以下の通りです。

◇身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす力

◇実生活に不可欠で、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能、評価・改善する力

2 国語・数学・英語に関する調査の概要

国 語	成果	①文章に即して根拠を明確にして自分の考えをもつ「読むこと」、自分の考えをまとめて記述する「書くこと」の力が身についている。 ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、話や文章の中での適切な言葉を活用する力が身についている。
	課題	①話し合いの話題や方向性を捉えたり、相手に分かりやすく表現する「話すこと・聞くこと」に課題が見られた。 ②「封筒の正しい書き方」に課題が見られた。
数 学	成果	①基本的な「四則計算」や結果の特徴を的確に捉えて考察する力が身についている。 ②資料の傾向を的確に捉えて考察したり、「数学的な表現を用いて説明したりする力」が身についている。
	課題	①関数領域において「事象を関数として捉えて表現」したり、「数学的な結果を事象に即して解釈」したりすることに課題が見られた。 ②図形領域において、「数学的な結果を事象に即して解釈する」ことに課題が見られた。
英 語	成果	①自然な口調で話されたり、読まれたりする英語の情報を正確に聞き取るなどの「聞くこと」の力が身についている。 ②自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えるなどの「話すこと」の力が身についている。
	課題	①自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように文章を「書く力」に課題が見られた。 ②「話の内容や書き手の意見などを正しく捉える」ことに課題が見られた。

3 学習状況（生活習慣・学習習慣・学習内容）の調査結果の概要

＜全国・全道との関係における本校の生徒の傾向について特徴的なもの＞

- 家庭生活や地域に関する質問については、ほとんどの質問が肯定的な答えでした。全道・全国と比べて課題となった質問は、「学校以外の図書館利用する」「地域をよくするためにどんなことをすべきか考える」「地域を外国人に知ってもらいたいと考える」でした。
- 自分自身に関する質問では、「自分には良いところがある」「夢や希望をもっている」と答えた生徒が年々増え、全道・全国平均を大きく上回りました。
- 学校のことに関する質問では、すべての質問で全道・全国平均を上回り、「規則を守っている」と全員が答えました。
- 教科に関する質問では、国語・英語はすべての質問で全道・全国を上回っていましたが、英語の解答時間が足りないとの回答が多く見られました。数学については否定的な回答が多く、苦手意識が高い結果となりました。

4 指導の重点策（結果を分析し、校内研修で重点策の共通理解を図り取り組んでいます）

＜確かな学力の育成に向けて＞

- ①すべての授業の中で「学習課題(めあて・ねらい)」を明示し、学習課題に対して自分の考えをもたせる活動を行います。
- ②学習課題の解決の過程で、自分の考えを多様な表現方法で他者に伝えたり、伝え合う活動を通して、様々なものの見方・考え方に触れる機会を多くします。
- ③学習活動の中で、思考や判断を促す発問や指示を具体化し、板書を工夫して家庭学習で振り返ることができる授業を心がけます。また、eライブラリーを活用した家庭学習の取組を推進します。
- ④授業の最後に、学習の取組を振り返り、課題解決の成果を実感したり、他者の意見から思考が深まったことへの賞賛等を行い、自己肯定感・自己有用感を更に高める指導を心がけます。
- ⑤朝読書や授業の中で読書に取り組む時間を確保し、新聞を活用した教育活動を取り入れるなど活字に触れる機会を設け、読む力を高める指導を心がけます。

＜豊かな心と健やかな体の育成に向けて＞

- ①家庭訪問や参観日、学校・学級だよりなどを通して、家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣の育成を図ります。
- ②クリーン西神楽や、ホタル祭りなどの地域行事への参加等を通して、地域の方々との交流を積極的に深め、地域を愛する心や人とのかかわりを大切にする態度を育みます。
- ③薬物乱用防止教室の開催により、薬物の恐ろしさを体感する指導を行います。また、生徒会を中心としたアウトメディア・いじめ防止に関する取組を強化します。
- ④「総合的な学習の時間」を中心に、キャリア教育の充実や自己管理能力を高める学習を行い、自己肯定感の高揚や望ましい生活習慣や時間管理の更なる向上を目指します。